

ほっとなる広場公園トライアル・サウンディング結果

開催概要

■目的

公園などの公共施設は、少子高齢化や人口減少、施設の老朽化、財政や人員の制約、価値観の多様化といった社会の変化に対応した、効果的かつ効率的な管理・運営が求められています。

そのような中、ほっとなる広場公園は立地条件に恵まれる一方で、十分に活用されていない状況にあります。

そこで、ほっとなる広場公園を試験的に活用していただき、利用のしやすさや採算性を検証しながら、新たな活用方法を模索することで、より魅力ある公園空間を創出し、公園利用者の利便性向上を図ることを目的として実施しました。

■募集期間

令和7年7月11日から令和8年3月17日まで

■開催期間

令和7年7月11日から令和8年3月31日まで

■対象とする公園

ほっとなる広場公園

■内容

マルシェ、パブリックビューイング、芋煮会、
利活用者の募集や受付、調整、広報
その他利活用に係る事務や清掃等の日常管理 など



Sunday bar



イヌとネコとマチと。



クリスマスマーケット



パブリックビューイング



街なか芋煮会

ほっとなる広場公園トライアル・サウンディング結果

活用概要

- マルシェ等
学生や家族連れ、散歩途中の方の立ち寄りスポットに
 - パブリックビューイング
約300名のサポーターが来場（キッチンカーも出店）
 - 防災イベント
若い方の関心が高く約200名が参加
 - 芋煮会
近隣の方や仕事終わりの方がゆるく立ち寄れる雰囲気が好評
- ※その他イベントで活用

実施結果

- 周辺店舗からの苦情等はなかった。
- 公園使用店舗と周辺飲食店の連携が図られ、公園内の賑わいが周辺に
しみ出していた。
- 商店街等が窓口になることで、使用のハードルが下がり、イベント等の
開催される頻度が増えた。



利用者の声

※参加者提出の使用実績報告書より抜粋

- ・広場で何かをやっていると街に足を運ぶきっかけになる。
- ・子どもたちの遊び場所になったり、たまにイベントをやったり、学生たちの息抜きになったり、色々な用途で使われているのを見える。
- ・天気が良い季節は散歩で立ち寄ったり、休憩したりする場所として利用している。
- ・近隣にテイクアウトできるお店が多く、広場で飲食したいが、ゴミ箱がないため躊躇する。
- ・小さくても良いのでイベントの開催頻度が上がって欲しい。
- ・公園の遊具一つでも子どもたちにとっては楽しく喜んで利用していた。
- ・お店に食事に行くついでに立ち寄った。ドリンク1杯分をゆっくり過ごすのにちょうどいい。
- ・一般の人や団体でも使用できることを知らなかった。手続きが難しいと思っていたが（商店街が窓口になっていることを説明すると）前向きに利用を検討したい。